

第7回 航空自衛隊第1補給処オフィス家具等
の事務用品談合事案調査・検討委員会

議 事 概 要 等

- 1 日 時：22年8月25日（水）1030～1145
- 2 場 所：第1省議室
- 3 出席者：楠田防衛大臣政務官、事務次官、大臣官房長、人事教育局長、経理装備局長、鈴木審議官（総合取得改革担当）
統合幕僚長、陸上幕僚長、海上幕僚長、航空幕僚長、防衛監察監
川戸 恵子 自衛隊員倫理審査会会長（有識者委員）
小室 恒 防衛人事審議会会長（有識者委員）
坂井 一郎 防衛調達審議会会長（有識者委員）
人事教育局人事計画・補任課長、人事教育局サービス管理官、経理装備局会計課長、経理装備局監査課長、経理装備局装備政策課長

4 楠田防衛大臣政務官の冒頭発言の概要

- 本日は、調査・検討委員会の第7回目。今回は、平成23年度概算要求の期限が迫っていることから、平成23年度概算要求に反映すべきものを中心に再発防止策の検討状況について報告を受けることとする。
- また、本委員会後に、平成23年度概算要求に盛り込む再発防止策について対外的に説明することとしたいと考えており、委員の皆様方の意見を頂き、国民の期待に応えられるものになりたいと考えているので、本日も、積極的に御議論して頂きたい。

5 議論の概要

資料に基づく説明の後、次のような意見が出された。

- 概算要求する事項だけを説明することにより、焼け太りではないかと指摘されないよう、予算の削減を行うことや調達組織のあり方や人事管理・再就職のあり方についても検討していることをしっかり説明すべきとの指摘があった。

- 調達組織のあり方、人事管理、再就職のあり方については、難しい問題であり、検討に時間がかかることはやむを得ないが、再発防止にしっかり取り組む姿勢を示すためには、これらについて検討していることをきちんと説明する必要があるとの指摘があった。
- 事務用品のアウトソーシングについて、次のような点について議論がなされた。
 - ・ アウトソーシング契約の相手方となる会社の選定や契約のあり方
 - ・ アウトソーシングの対象となる調達物品の範囲
- 懲戒処分の考え方について議論があった。

6 楠田防衛大臣政務官の閉会発言の概要

- 本日、再発防止策について率直なご意見を頂いた。今後、再発防止策の検討については、組織のあり方、人事管理・再就職のあり方等について、しっかりと議論をしていく必要があるが、一方でスピード感をもって検討していきたい。

(以上)